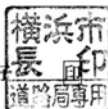


開 示 決 定 通 知 書

道横環第 571 号
平成31年 2月 6日

様

横浜市長 林 文子



平成31年1月23日に開示請求がありました行政文書については、横浜市の保有する情報の公開に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおりその全部を開示することと決定しましたので通知します。

1 開示請求に係る行政文書	横浜環状南線、横浜湘南道路等の整備及び関連するまちづくりの推進について（要望）の写し【平成28年1月20日】 横浜環状南線、横浜湘南道路等の整備及び関連するまちづくりの推進について（回答）の写し【平成28年4月20日】	
2 開示の日時及び場所	日 時	平成 31 年 2 月 7 日 午前・ 午後 1 時 00分
	場 所	市民情報センター（市庁舎1階）
3 開示の実施方法	写しの交付	
4 担 当 課	道路局 横浜環状道路調整課 電話 045(671)2759	
5 備 考		

- (注意) 1 この通知書を持参の上、指定の日時に指定の場所においでください。
 2 指定の日時に来られない場合は、事前にその旨を電話等で担当課まで連絡してください。

非 開 示 決 定 通 知 書

道横環第 571 号
平成31年 2月 6日

様

横浜市長 林 文子



平成31年1月23日に開示請求がありました行政文書については、横浜市の保有する情報の公開に関する条例第10条第2項の規定により、次のとおりその全部を開示しないことと決定しましたので通知します。

1 開示請求に係る行政文書	横環南の脱硝装置設置に関し、ネクスコからの回答記録
2 行政文書の概要	_____
3 非開示とする根拠規定	横浜市の保有する情報の公開に関する条例第10条第2項
4 根拠規定を適用する理由	請求内容の横浜環状南線の脱硝装置設置に関し、東日本高速道路株式会社からの回答文書は受け取っておらず、また、回答記録は作成していないことから、当該開示請求に係る行政文書は保有していないため。
5 担 当 課	道路局 横浜環状道路調整課 電話045(671)2759
6 備 考	

この処分不服があるときは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、横浜市長に審査請求をすることができます。

また、この処分があったことを知った日から6か月以内に、横浜市を被告として訴訟を提起することもできます。

No. 27-416002



要 望 書

平成 28 年 1 月 20 日

香川県連合町内会

横浜市長
林 文子 様

栄区連合町内会会長
磯 崎 保 和

横浜環状南線、横浜湘南道路等の整備及び関連するまちづくりの推進について（要望）

日頃より、栄区連合町内会の取組にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、横浜環状南線、横浜湘南道路は、用地取得も進み、区内の各所で工事が本格化しています。これらの路線は、首都圏中央連絡自動車道を形成しており、栄区の広域的な交通利便性を高めるとともに、地域住民と連携し、関連するまちづくりなどを併せて推進することにより、地域の一層の発展につながるものと考えられます。

そこで、栄区連合町内会として、次について要望します。

【全体】

■事業の推進

横浜環状南線、横浜湘南道路（以下、南線等）及び上郷公田線などの関連道路について、早期完成に向け積極的に事業推進すること。

■環境対策

栄区は豊かな環境に恵まれている。道路整備に当たっては、周辺環境に配慮し、緑化や騒音・振動・大気の対策、換気所の環境対策などに十分に取り組むこと。

また、工事期間が長期にわたることから、通学路などの安全対策や騒音・振動・地盤沈下等の対応に十分に配慮すること。

■情報提供と意見交換

事業者は、区役所と連携を密にし、連合町内会、自治会・町内会への情報提供や意見交換をしながら進めること。

■まちづくりの推進

道路整備による地域での効果を高めるため、関連するまちづくりや課題となっている都市基盤整備、バス路線の導入などに向けた取組も併せて推進すること。

【豊田地区】

■生活道路の対策

豊田地区では、南線等の本線、インターチェンジ、さらに関連道路などの整備が輻輳するため、それに伴う生活道路への影響が懸念される。生活道路の切り直しなど再整備の計画を明らかにし、工事中の安全対策を含め、地元と十分に協議すること。

■バス路線の整備

柏尾川、東海道線で分断されているエリアのつながりを高めるため、バス路線の導入などに向けた取組を進めること。また、南線等を生かした高速バスの導入に向けた取組を進めること。

■まちづくりの推進

栄インターチェンジ周辺は、広域的な交通利便性が著しく向上する。インターチェンジ周辺のまちづくりの推進及び中核となる道の駅の整備について、検討を進めること。

【笠間・小菅ヶ谷地区】

■笠間交差点の対策

慢性的な交通渋滞が生じている笠間交差点の改良を早期に進めること。その際、仲通りと県道大船停車場矢部線との連絡など通学路の安全対策に配慮すること。また、道路整備と併せて、笠間地区の浸水対策も実施すること。

■環状4号線の整備

環状4号線の笠間交差点から鎌倉女子大学前交差点までの区間について、4車線化とともに、景観に十分配慮し、区のシンボルとなるような道路として整備すること。

【本郷中央・上郷西地区】

■工事に伴う安全対策及び上郷公田線トンネルの整備

工事が本格化しており、作業帯の設置や工事用車両の通行など影響が懸念される。周辺の住環境に配慮するとともに、通学路の安全対策や防犯対策などについて、地元と連携して取り組むこと。また、工事用車両の分散化などのため、上郷公田線トンネル(公田～桂町交差点)を前倒して整備を進めること。

■上郷公田線環境対策とバス路線の整備

上郷公田線については、周辺が良好な住宅であることを配慮した計画とすること。また、上郷公田線を生かし、本郷台駅へのアクセスや地区内の商業施設の活性化へつなげるバス路線、さらに、南線等をいかした高速バス路線の導入に向けた取組を進めること。

【上郷東地区】

■神戸橋架替工事の推進

神戸橋の架替工事により、環状4号線が渋滞している。横浜環状南線工事の本格化による工事用車両の影響が懸念されるため、架替工事を早期に完成させること。

■まちづくりの推進

上郷東地区まちづくり協議会など地元におけるまちづくり検討と連動して、旧庄戸中学校跡地と一体的なトンネル上部利用を検討すること。

■バス路線の導入

上郷公田線で導入を検討しているバス路線について、環状4号線東側の地区住民(庄戸地区など)の利用も可能となるよう、バス運行(乗り継ぎや当地区への延伸、循環バスなど)の導入に向けた取組を進めること。

【本郷中央・本郷第三・上郷西・上郷東地区】

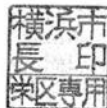
■環状4線の整備

環状4号線は、栄区の骨格を形成する重要な幹線道路である。上郷公田線が整備されても、その役割は変わるものではない。公田交差点付近から本郷小学校まで整備されたところであるが、引き続き、以東の区間についても、ボトルネック交差点対策や歩道整備など緊急対策も含め、順次整備を進めること。

栄区連合町内会	会長	磯崎 保和
豊田連合町内会自治会	会長	磯崎 保和
笠間連合町内会自治会	会長	持田 忠
小菅ヶ谷連合町内会自治会	会長	田中 房一
本郷中央連合町内会自治会	会長	細田 利明
本郷第三連合町内会	会長	保坂 順彌
上郷西連合町会	会長	新保 孝雄
上郷東連合町会	会長	吉田 敏生

栄区連合町内会
会長 磯崎 保和 様

横浜市長 林 文字



横浜環状南線、横浜湘南道路等の整備及び関連するまちづくりの推進について（回答）

さきにご要望（平成28年1月20日）のありましたことについて、次のとおりお答えします。

【全体】

■事業の推進

横浜環状南線、横浜湘南道路（以下、南線等）及び上郷公田線などの関連道路について、早期完成に向け積極的に事業推進すること。

（回答）

横浜環状南線及び横浜湘南道路については、平成28年度には残りのトンネル区間の工事着手を予定しています。今後も事業者である国や東日本高速道路株式会社と連携し、平成32年度の開通に向けて事業を推進していきます。

■環境対策

栄区は豊かな環境に恵まれている。道路整備に当たっては、周辺環境に配慮し、緑化や騒音・振動・大気の対策、換気所の環境対策などに十分に取り組むこと。

また、工事期間が長期にわたることから、通学路などの安全対策や騒音・振動・地盤沈下等の対応に十分に配慮すること。

（回答）

環境への配慮については、環境影響評価を踏まえ、適切に対応するとともに、換気所周辺の緑化や脱硝装置の設置等、環境に配慮した取組を事業者に働きかけていきます。また、工事中においては、工事等に伴う周辺への影響が少なくなるよう、引き続き事業者と調整していきます。

■情報提供と意見交換

事業者は、区役所と連携を密にし、連合町内会、自治会・町内会への情報提供や意見交換をしながら進めること。

（回答）

地元への情報提供や意見交換については、引き続き関係機関と連携して進めていきます。

■まちづくりの推進

道路整備による地域での効果を高めるため、関連するまちづくりや課題となっている都市基盤整備、バス路線の導入などに向けた取組も併せて推進すること。

(回答)

道路整備に関連するまちづくりについては、地域の意向を十分に把握しながら、実現に向けて、関係機関と連携して検討を進めます。

また、バス路線の導入については、利用者の需要や事業としての採算性などの条件を踏まえながら、バス事業者が判断することとなりますが、今後も地元の意向を踏まえながら、バス路線の導入に向けて、バス事業者に働きかけていきます。

【豊田地区】

■生活道路の対策

豊田地区では、南線等の本線、インターチェンジ、さらに関連道路などの整備が輻輳するため、それに伴う生活道路への影響が懸念される。生活道路の切り直しなど再整備の計画を明らかにし、工事中の安全対策含め、地元と十分に協議すること。

(回答)

生活道路などの切り直しや工事中の安全対策については、地元の意向を踏まえながら、事業者と連携して実施を進めていきます。整備計画の周知については、現在設計中ですので、設計がまとまり次第、地元の皆様に説明していきます。

■バス路線の整備

柏尾川、東海道線で分断されているエリアのつながりを高めるため、バス路線の導入などに向けた取組を進めること。また、南線等を生かした高速バスの導入に向けた取組を進めること。

(回答)

バス路線の導入については、利用者の需要や事業としての採算性などの条件を踏まえて、バス事業者が判断することとなりますが、今後も地元の意向を踏まえながら、バス路線の導入に向けて、バス事業者に働きかけていきます。

■まちづくりの推進

栄インターチェンジ周辺は、広域的な交通利便性が著しく向上する。インターチェンジ周辺のまちづくりの推進及び中核となる道の駅の整備について、検討を進めること。

(回答)

栄インターチェンジ周辺のまちづくりについては、地権者及び地域の皆様の機運の高まりを踏まえ、地域の活性化につながる施設などについて検討を進めていきます。

【笠間・小菅ヶ谷地区】

■笠間交差点の対策

慢性的な交通渋滞が生じている笠間交差点の改良を早期に進めること。その際、仲通りと県道大船停車場矢部線との連絡など通学路の安全対策に配慮すること。また、道路整備と併せて、笠間地区の浸水対策も実施すること。

■環状4号線の整備

環状4号線の笠間交差点から鎌倉女子大学前交差点までの区間について、4車線化とともに、景観に十分配慮し、区のシンボルとなるような道路として整備すること。

(回答)

笠間交差点付近の渋滞対策については、南線事業に併せて、神奈川県と連携して、笠間交差点から鎌倉女子大前交差点までの区間を4車線に拡幅し、合わせて6差路を4差路にする交差点改良を実施していきます。

通学路の安全対策については、交差点改良の範囲の中で歩道の拡幅についても、検討を進めています。

過去に浸水被害のあった笠間地区については、効果的な雨水排除方法を検討していきます。また、笠間五丁目の浸水地域については、私道の公道移管等、地域の皆様のご協力をいただきながら、雨水排水施設等の整備を調整していきます。

【本郷中央・上郷西地区】

■工事に伴う安全対策及び上郷公田線トンネルの整備

工事が本格化しており、作業帯の設置や工事用車両の通行など影響が懸念される。周辺の住環境に配慮するとともに、通学路の安全対策や防犯対策などについて、地元と連携して取り組むこと。また、工事用車両の分散化などのため、上郷公田線トンネル(公田～桂町交差点)を前倒して整備を進めること。

(回答)

工事に伴う安全対策については、工事等に伴う周辺への影響が少なくなるよう、引き続き事業者と調整していきます。また、公田インターチェンジ周辺では、沿線自治会と事業者及び本市で構成する「横浜環状南線安全対策連絡会」を設け、工事の進行状況の確認や安全パトロールなどを一緒に行っています。

また、上郷公田線の(仮称)桂町トンネルの上部には、未取得の用地があります。現在、積極的に用地取得を行っており、完了次第、当該トンネル工事に着手していく予定です。これにより、工事ルートや、安心して利用できる歩行空間が確保でき本郷台駅へのアクセスが向上しますので、早期整備に向けて努めています。

■上郷公田線環境対策とバス路線の整備

上郷公田線については、周辺が良好な住宅であることを配慮した計画とすること。また、上郷公田線を生かし、本郷台駅へのアクセスや地区内の商業施設の活性化へつなげるバス

路線、さらに、南線等をいかした高速バス路線の導入に向けた取組を進めること。

(回答)

上郷公田線の整備にあたっては、地域の方々のご意見も伺いながら、環境に配慮した設計を行っていきます。

また、バス路線の導入については、利用者の需要や事業としての採算性などの条件を踏まえて、バス事業者が判断することとなりますが、今後も地元の意向を踏まえ、バス路線の導入に向けて、バス事業者に働きかけていきます。

【上郷東地区】

■神戸橋架替工事の推進

神戸橋の架替工事により、環状4号線が渋滞している。横浜環状南線工事の本格化による工事用車両の影響が懸念されるため、架替工事を早期に完成させること。

(回答)

神戸橋の架け替えについては、平成27年度に河川関連の工事を完了しました。引き続き、平成28年度より、道路の復旧を上郷公田線事業として整備し、早期に完成ができるよう努めていきます。

■まちづくりの推進

上郷東地区まちづくり協議会など地元におけるまちづくり検討と連動して、旧庄戸中学校跡地と一体的なトンネル上部利用を検討すること。

(回答)

庄戸地区のトンネル上部等の利用については、上郷東地区まちづくり協議会等での議論を踏まえて、事業者と検討を進めていきます。

■バス路線の導入

上郷公田線で導入を検討しているバス路線について、環状4号線東側の地区住民(庄戸地区など)の利用も可能となるよう、バス運行(乗り継ぎや当地区への延伸、循環バスなど)の導入に向けた取組を進めること。

(回答)

バス路線の導入や再編については、利用者の需要や事業としての採算性などの条件を踏まえて、バス事業者が判断することとなりますが、今後も地元の意向を踏まえ、バス路線の導入に向けて、バス事業者に働きかけていきます。

【本郷中央・本郷第三・上郷西・上郷東地区】

■環状4号線の整備

環状4号線は、栄区の骨格を形成する重要な幹線道路である。上郷公田線が整備されても、その役割は変わるものではない。公田交差点付近から本郷小学校まで整備されたところであるが、引き続き、以東の区間についても、ボトルネック交差点対策や歩道整備など緊急

対策も含め、順次整備を進めること。

(回答)

横浜環状南線や上郷公田線が完成すると、交通ネットワークが変わるため環状4号線に掛る負荷が軽減されることが期待されます。本市としましては、引き続き横浜環状南線や上郷公田線の推進を行っていきます。

環状4号線は、区内の重要な幹線道路として、東西の軸を担っています。そうしたことから、本郷小学校前交差点から神奈中車庫前交差点付近の区間においては都市計画道路の優先整備路線として指定を行い、平成32年度頃までを目標に事業着手をしていきます。

神奈中車庫前交差点より以東の区間については、当面の対策として、ボトルネック交差点对策や、バスベイの設置等の改良整備を進めていきます。

この旨ご了承いただき、貴会の皆様によりしくお伝えください。

担当

横浜市道路局横浜環状道路調整課（電話：045-671-2759 FAX：045-651-2325）

横浜市道路局企画課（電話：045-671-2777 FAX：045-651-6527）

横浜市道路局建設課（電話：045-671-3635 FAX：045-663-8993）

横浜市環境創造局管路整備課（電話：045-671-3983 FAX：045-681-2215）

横浜市栄区役所区政推進課（電話：045-894-8161 FAX：045-894-9127）

(広聴 第27-416002号)